

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 鹿児島県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	鹿屋医療センター	2
-	大島病院	3
-	始良病院	4
-	薩南病院	5
-	北薩病院	6
鹿児島市	市立病院	7
枕崎市	市立病院	8
出水市	出水総合医療センター	9
垂水市	垂水中央病院	10
霧島市	医師会医療センター	11
南さつま市	市立坊津病院	12
肝付町	町立病院	13
公立種子島病院組合	公立種子島病院	14

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 鹿屋医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	13,834 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	182	54.3	67.6	76.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	53.2	66.1	74.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.8	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	853,606,371	
標準財政規模(千円)	481,691,120	
財政力指数	0.35338	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	212.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,929,462			
1 経常収益	3,863,839			
(1) 医業収益	2,753,664			
入院収益	1,867,499			
外来収益	710,812			
診療収入計	2,578,311			
その他医業収益	175,353			
(うち他会計負担金)	136,010			
(2) 医業外収益	1,110,175			
(うち国・都道府県補助金)	494,379			
(うち他会計補助・負担金)	429,901			
(うち長期前受金戻入)	171,680			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	65,623			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,743,169			
2 経常費用	3,677,546			
(1) 医業費用	3,486,644			
職員給与費	2,031,662	73.8	62.1	67.4
材料費	642,880	23.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	347,510	12.6	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	269,868	9.8	11.4	8.8
減価償却費	241,084	8.8	9.5	10.7
経費	558,923	20.3	22.7	29.2
(うち委託料)	275,147	10.0	12.6	13.9
研究研修費	4,157			
資産減耗費	7,938			
(2) 医業外費用	190,902			
(うち支払利息)	55,297	2.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	65,623			
損益				
経常損益	186,293			
純損益	186,293			
累積欠損金	5,548,488			
経常収支比率	105.1		101.9	100.3
医業収支比率	79.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	20.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.4		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	89.7		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,963,334
1 固定資産	21,421,275
(1) 有形固定資産	14,661,895
(2) 無形固定資産	7,885
(3) 投資その他の資産	6,751,495
2 流動資産	12,542,059
(1) 現金及び預金	9,903,769
(2) 未収金及び未収収益	2,432,008
(3) 貸倒引当金()	3,516
(4) 貯蔵品	28,798
3 繰延資産	-
負債合計	13,619,756
1 固定負債	6,791,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,343,585
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,448,094
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,956,141
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	521,161
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	638,108
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,712,899
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,871,936
(1) 長期前受金	12,014,805
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,142,869
資本合計	20,343,578
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-6,735,233
(1) 資本金剰余金	332,197
(2) 利益剰余金	-7,067,430
負債・資本合計	33,963,334
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.1
修正医業収益(千円)	2,617,654

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	565,911	565,911
資本勘定繰入	267,643	267,643
計	833,554	833,554

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 大島病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,312 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	331	62.0	73.6	83.5
療養	-	-	-	-
結核	15	4.9	3.4	6.5
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	350	58.8	69.7	78.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	13.2	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	853,606,371	
標準財政規模(千円)	481,691,120	
財政力指数	0.35338	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	212.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.6
修正医業収益(千円)	5,627,299

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,596,912			
1 経常収益	7,453,251			
(1) 医業収益	6,129,795			
入院収益	4,075,112			
外来収益	1,456,690			
診療収入計	5,531,802			
その他医業収益	597,993			
(うち他会計負担金)	502,496			
(2) 医業外収益	1,323,456			
(うち国・都道府県補助金)	242,181			
(うち他会計補助・負担金)	867,839			
(うち長期前受金戻入)	178,634			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	143,661			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,928,213			
2 経常費用	7,784,553			
(1) 医業費用	7,446,121			
職員給与費	4,259,224	69.5	62.1	63.5
材料費	1,536,427	25.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	835,073	13.6	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	638,061	10.4	11.4	11.8
減価償却費	417,831	6.8	9.5	10.0
経費	1,216,632	19.8	22.7	21.7
(うち委託料)	711,212	11.6	12.6	12.2
研究研修費	9,680			
資産減耗費	6,327			
(2) 医業外費用	338,432			
(うち支払利息)	3,938	0.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	143,660			
損益				
経常損益	-331,302			
純損益	-331,301			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.7		101.9	101.7
医業収支比率	82.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	18.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	22.4		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	18.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	78.1		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,963,334
1 固定資産	21,421,275
(1) 有形固定資産	14,661,895
(2) 無形固定資産	7,885
(3) 投資その他の資産	6,751,495
2 流動資産	12,542,059
(1) 現金及び預金	9,903,769
(2) 未収金及び未収収益	2,432,008
(3) 貸倒引当金()	3,516
(4) 貯蔵品	28,798
3 繰延資産	-
負債合計	13,619,756
1 固定負債	6,791,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,343,585
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,448,094
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,956,141
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	521,161
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	638,108
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,712,899
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,871,936
(1) 長期前受金	12,014,805
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,142,869
資本合計	20,343,578
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-6,735,233
(1) 資本金剰余金	332,197
(2) 利益剰余金	-7,067,430
負債・資本合計	33,963,334
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,370,335	1,370,335
資本勘定繰入	89,484	89,484
計	1,459,819	1,459,819

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
始良病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,404 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	334	74.8	75.8	94.2
感染症	-	-	-	-
計	334	74.8	75.8	94.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	853,606,371	
標準財政規模(千円)	481,691,120	
財政力指数	0.35338	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	212.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.7
修正医業収益(千円)	2,253,913

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,335,271			
1 経常収益	3,273,671			
(1) 医業収益	2,271,242			
入院収益	1,904,304			
外来収益	341,173			
診療収入計	2,245,477			
その他医業収益	25,765			
(うち他会計負担金)	17,329			
(2) 医業外収益	1,002,429			
(うち国・都道府県補助金)	91,900			
(うち他会計補助・負担金)	802,431			
(うち長期前受金戻入)	92,785			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	61,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,748,626			
2 経常費用	2,676,358			
(1) 医業費用	2,598,177			
職員給与費	1,772,808	78.1	62.1	104.8
材料費	323,189	14.2	25.3	8.7
(うち薬品費)	239,173	10.5	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,479	0.9	11.4	1.3
減価償却費	142,979	6.3	9.5	13.5
経費	356,295	15.7	22.7	33.3
(うち委託料)	189,248	8.3	12.6	18.6
研究研修費	2,559			
資産減耗費	347			
(2) 医業外費用	78,181			
(うち支払利息)	3,919	0.2	1.3	2.7
(3) 特別損失	72,268			
損益				
経常損益	597,313			
純損益	586,645			
累積欠損金	-			
経常収支比率	122.3		101.9	101.4
医業収支比率	87.4		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.0		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	36.1		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	24.6		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	91.7		89.3	66.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,963,334
1 固定資産	21,421,275
(1) 有形固定資産	14,661,895
(2) 無形固定資産	7,885
(3) 投資その他の資産	6,751,495
2 流動資産	12,542,059
(1) 現金及び預金	9,903,769
(2) 未収金及び未収収益	2,432,008
(3) 貸倒引当金()	3,516
(4) 貯蔵品	28,798
3 繰延資産	-
負債合計	13,619,756
1 固定負債	6,791,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,343,585
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,448,094
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,956,141
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	521,161
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	638,108
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,712,899
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,871,936
(1) 長期前受金	12,014,805
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,142,869
資本合計	20,343,578
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-6,735,233
(1) 資本金剰余金	332,197
(2) 利益剰余金	-7,067,430
負債・資本合計	33,963,334
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	819,760	819,760
資本勘定繰入	144,021	144,021
計	963,781	963,781

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 薩南病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,540 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	151	56.0	61.4	79.7
療養	-	-	-	-
結核	20	0.2	6.5	15.1
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	175	48.3	53.7	68.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	13.4	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	853,606,371	
標準財政規模(千円)	481,691,120	
財政力指数	0.35338	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	212.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.9
修正医業収益(千円)	2,397,578

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,157,924			
1 経常収益	3,102,501			
(1) 医業収益	2,515,304			
入院収益	1,669,679			
外来収益	691,243			
診療収入計	2,360,922			
その他医業収益	154,382			
(うち他会計負担金)	117,726			
(2) 医業外収益	587,197			
(うち国・都道府県補助金)	261,415			
(うち他会計補助・負担金)	278,236			
(うち長期前受金戻入)	39,649			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	55,423			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,031,417			
2 経常費用	2,975,994			
(1) 医業費用	2,857,726			
職員給与費	1,651,221	65.6	62.1	67.4
材料費	692,983	27.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	315,295	12.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	356,557	14.2	11.4	8.8
減価償却費	153,618	6.1	9.5	10.7
経費	354,686	14.1	22.7	29.2
(うち委託料)	191,348	7.6	12.6	13.9
研究研修費	2,905			
資産減耗費	2,313			
(2) 医業外費用	118,268			
(うち支払利息)	25	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	55,423			
損益				
経常損益	126,507			
純損益	126,507			
累積欠損金	1,681,407			
経常収支比率	104.3		101.9	100.3
医業収支比率	88.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	90.9		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,963,334
1 固定資産	21,421,275
(1) 有形固定資産	14,661,895
(2) 無形固定資産	7,885
(3) 投資その他の資産	6,751,495
2 流動資産	12,542,059
(1) 現金及び預金	9,903,769
(2) 未収金及び未収収益	2,432,008
(3) 貸倒引当金()	3,516
(4) 貯蔵品	28,798
3 繰延資産	-
負債合計	13,619,756
1 固定負債	6,791,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,343,585
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,448,094
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,956,141
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	521,161
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	638,108
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,712,899
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,871,936
(1) 長期前受金	12,014,805
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,142,869
資本合計	20,343,578
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-6,735,233
(1) 資本剰余金	332,197
(2) 利益剰余金	-7,067,430
負債・資本合計	33,963,334
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	395,962	395,962
資本勘定繰入	26,356	26,356
計	422,318	422,318

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 北薩病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,704 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	146	44.5	56.5	78.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	150	43.3	54.9	75.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	18.4	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	853,606,371	
標準財政規模(千円)	481,691,120	
財政力指数	0.35338	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	212.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.1
修正医業収益(千円)	1,372,343

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,980,509			
1 経常収益	1,938,095			
(1) 医業収益	1,486,795			
入院収益	912,517			
外来収益	419,666			
診療収入計	1,332,183			
その他医業収益	154,612			
(うち他会計負担金)	114,452			
(2) 医業外収益	451,300			
(うち国・都道府県補助金)	166,046			
(うち他会計補助・負担金)	247,471			
(うち長期前受金戻入)	28,927			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	42,414			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,138,249			
2 経常費用	2,095,835			
(1) 医業費用	2,015,287			
職員給与費	1,301,355	87.5	62.1	67.4
材料費	229,491	15.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	144,016	9.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	69,675	4.7	11.4	8.8
減価償却費	112,970	7.6	9.5	10.7
経費	359,285	24.2	22.7	29.2
(うち委託料)	194,607	13.1	12.6	13.9
研究研修費	2,229			
資産減耗費	9,957			
(2) 医業外費用	80,548			
(うち支払利息)	18	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	42,414			
損益				
経常損益	-157,740			
純損益	-157,740			
累積欠損金	6,304,160			
経常収支比率	92.5		101.9	100.3
医業収支比率	73.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	18.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	24.3		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	18.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	75.2		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,963,334
1 固定資産	21,421,275
(1) 有形固定資産	14,661,895
(2) 無形固定資産	7,885
(3) 投資その他の資産	6,751,495
2 流動資産	12,542,059
(1) 現金及び預金	9,903,769
(2) 未収金及び未収収益	2,432,008
(3) 貸倒引当金()	3,516
(4) 貯蔵品	28,798
3 繰延資産	-
負債合計	13,619,756
1 固定負債	6,791,679
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,343,585
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,448,094
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,956,141
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	521,161
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	638,108
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,712,899
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,871,936
(1) 長期前受金	12,014,805
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,142,869
資本合計	20,343,578
1 資本金	27,078,811
2 剰余金	-6,735,233
(1) 資本金剰余金	332,197
(2) 利益剰余金	-7,067,430
負債・資本合計	33,963,334
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	361,923	361,923
資本勘定繰入	44,920	44,920
計	406,843	406,843

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		鹿児島県	
市町村・組合名	鹿児島市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	51,227 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が感災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	568	84.2	90.5	90.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	30.4	-	1.4
計	574	83.7	89.6	89.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.5	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	593,128	
決算規模(千円)	341,958,418	
標準財政規模(千円)	133,901,840	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	93.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.0
	将来負担比率(%)	37.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.9
修正医業収益(千円)	20,515,016

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,529,526			
1 経常収益	22,185,327			
(1) 医業収益	20,719,091			
入院収益	14,718,583			
外来収益	5,155,609			
診療収入計	19,874,192			
その他医業収益	844,899			
(うち他会計負担金)	204,075			
(2) 医業外収益	1,466,236			
(うち国・都道府県補助金)	872,800			
(うち他会計補助・負担金)	345,805			
(うち長期前受金戻入)	67,837			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	344,199			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,453,769			
2 経常費用	23,093,977			
(1) 医業費用	21,627,811			
職員給与費	10,613,166	51.2	62.1	55.8
材料費	6,406,973	30.9	25.3	29.8
(うち薬品費)	3,299,022	15.9	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,104,092	15.0	11.4	13.0
減価償却費	1,539,463	7.4	9.5	8.7
経費	2,937,374	14.2	22.7	19.7
(うち委託料)	1,608,907	7.8	12.6	12.6
研究研修費	59,848			
資産減耗費	70,987			
(2) 医業外費用	1,466,166			
(うち支払利息)	285,768	1.4	1.3	1.2
(3) 特別損失	359,792			
損益				
経常損益	-908,650			
純損益	-924,243			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.1		101.9	102.5
医業収支比率	95.8		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	2.5		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	2.7		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	2.4		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	93.7		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	40,412,356
1 固定資産	25,004,639
(1) 有形固定資産	24,094,816
(2) 無形固定資産	155
(3) 投資その他の資産	909,668
2 流動資産	15,407,717
(1) 現金及び預金	11,278,253
(2) 未収金及び未収収益	3,985,691
(3) 貸倒引当金()	4,918
(4) 貯蔵品	148,175
3 繰延資産	-
負債合計	30,974,257
1 固定負債	25,429,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,093,912
(2) その他の企業債	571,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,764,325
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,944,522
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,396,002
(2) その他の企業債	120,820
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	645,458
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,701,088
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,600,498
(1) 長期前受金	2,471,306
(2) 長期前受金収益化累計額()	870,808
資本合計	9,438,099
1 資本金	8,266,897
2 剰余金	1,171,202
(1) 資本金剰余金	267,260
(2) 利益剰余金	903,942
負債・資本合計	40,412,356
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	578,974	549,880
資本勘定繰入	583,406	518,041
計	1,162,380	1,067,921

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	枕崎市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,618 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	20	77.7	88.6	90.9
療養	35	72.1	87.8	86.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	74.2	88.1	88.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	19.0	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	20,033	
決算規模(千円)	17,966,472	
標準財政規模(千円)	6,197,728	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	27.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	673,579			
1 経常収益	673,579			
(1) 医業収益	485,758			
入院収益	342,847			
外来収益	116,501			
診療収入計	459,348			
その他医業収益	26,410			
(うち他会計負担金)	14,098			
(2) 医業外収益	187,821			
(うち国・都道府県補助金)	36,489			
(うち他会計補助・負担金)	109,205			
(うち長期前受金戻入)	24,215			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	675,410			
2 経常費用	675,410			
(1) 医業費用	641,346			
職員給与費	396,354	81.6	62.1	78.9
材料費	42,148	8.7	25.3	15.6
(うち薬品費)	24,618	5.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,530	3.6	11.4	6.0
減価償却費	55,119	11.3	9.5	11.7
経費	143,525	29.5	22.7	31.2
(うち委託料)	56,339	11.6	12.6	14.3
研究研修費	4,162			
資産減耗費	38			
(2) 医業外費用	34,064			
(うち支払利息)	9,440	1.9	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-1,831			
純損益	-1,831			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.7		101.9	100.3
医業収支比率	75.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	25.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	18.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	81.5		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,215,560
1 固定資産	748,245
(1) 有形固定資産	748,172
(2) 無形固定資産	73
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	467,315
(1) 現金及び預金	363,038
(2) 未収金及び未収収益	96,343
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,946
3 繰延資産	-
負債合計	890,909
1 固定負債	476,489
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	447,183
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	26,545
(7) リース債務	2,761
2 流動負債	95,242
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,105
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,904
(6) リース債務	14,006
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,985
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	319,178
(1) 長期前受金	517,984
(2) 長期前受金収益化累計額()	198,806
資本合計	324,651
1 資本金	102,295
2 剰余金	222,356
(1) 資本金剰余金	157,402
(2) 利益剰余金	64,954
負債・資本合計	1,215,560
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.5
修正医業収益(千円)	471,660

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	123,303	123,303
資本勘定繰入	7,009	7,009
計	130,312	130,312

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	出水市				
病院名	出水総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,861 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	257	61.3	57.2	61.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	2.3	0.1	-
計	261	60.5	56.4	60.9
平均在院日数(一般病床のみ)		21.5	19.3	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	51,994	
決算規模(千円)	36,844,177	
標準財政規模(千円)	16,011,342	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,381,051			
1 経常収益	5,286,951			
(1) 医業収益	4,285,120			
入院収益	2,852,986			
外来収益	1,272,434			
診療収入計	4,125,420			
その他医業収益	159,700			
(うち他会計負担金)	70,344			
(2) 医業外収益	1,001,831			
(うち国・都道府県補助金)	435,244			
(うち他会計補助・負担金)	336,976			
(うち長期前受金戻入)	164,177			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	94,100			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,109,354			
2 経常費用	5,015,254			
(1) 医業費用	4,710,378			
職員給与費	2,743,244	64.0	62.1	66.1
材料費	903,472	21.1	25.3	19.8
(うち薬品費)	422,013	9.8	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	433,773	10.1	11.4	9.3
減価償却費	257,200	6.0	9.5	10.2
経費	787,252	18.4	22.7	28.2
(うち委託料)	265,376	6.2	12.6	13.6
研究研修費	4,551			
資産減耗費	14,659			
(2) 医業外費用	304,876			
(うち支払利息)	52,801	1.2	1.3	1.6
(3) 特別損失	94,100			
損益				
経常損益	271,697			
純損益	271,697			
累積欠損金	1,243,395			
経常収支比率	105.4		101.9	99.9
医業収支比率	91.0		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	7.6		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	97.3		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,702,385
1 固定資産	3,116,389
(1) 有形固定資産	2,991,000
(2) 無形固定資産	17,025
(3) 投資その他の資産	108,364
2 流動資産	1,585,996
(1) 現金及び預金	542,015
(2) 未収金及び未収収益	1,021,248
(3) 貸倒引当金()	871
(4) 貯蔵品	17,340
3 繰延資産	-
負債合計	5,840,251
1 固定負債	3,983,163
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,142,319
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,572,000
(6) 引当金	1,263,593
(7) リース債務	5,022
2 流動負債	1,034,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	449,571
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	222,873
(6) リース債務	1,256
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	344,344
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	822,817
(1) 長期前受金	1,904,655
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,081,838
資本合計	-1,137,866
1 資本金	94,938
2 剰余金	-1,232,804
(1) 資本金剰余金	2,278
(2) 利益剰余金	-1,235,082
負債・資本合計	4,702,385
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	1,137,866
資本不足額(繰延収益控除後)()	315,049
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.5
修正医業収益(千円)	4,214,776

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	502,634	407,320
資本勘定繰入	253,559	253,559
計	756,193	660,879

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		垂水市			
病院名		垂水中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,756 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	91	75.4	85.6	88.4
療養	35	79.5	88.5	85.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	126	76.5	86.4	87.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	18.4	18.5

設立団体の状況		
人口(人)	13,819	
決算規模(千円)	14,282,773	
標準財政規模(千円)	5,353,580	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	26.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	344,129			
1 経常収益	344,108			
(1) 医業収益	42,917			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	42,917			
(うち他会計負担金)	42,917			
(2) 医業外収益	301,191			
(うち国・都道府県補助金)	5,840			
(うち他会計補助・負担金)	187,803			
(うち長期前受金戻入)	56,820			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	21			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	293,144			
2 経常費用	293,142			
(1) 医業費用	274,323			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	113,271	263.9	9.5	10.7
経費	152,964	356.4	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-	-		
資産減耗費	8,088			
(2) 医業外費用	18,819			
(うち支払利息)	9,520	22.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	2			
損益				
経常損益	50,966			
純損益	50,985			
累積欠損金	-			
経常収支比率	117.4		101.9	100.3
医業収支比率	15.6		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	67.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	537.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	67.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	38.7		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,827,498
1 固定資産	1,272,164
(1) 有形固定資産	1,271,614
(2) 無形固定資産	550
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	555,334
(1) 現金及び預金	532,803
(2) 未収金及び未収収益	23,432
(3) 貸倒引当金()	901
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,276,528
1 固定負債	934,067
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	934,067
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	293,086
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	107,038
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	185,848
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	49,375
(1) 長期前受金	382,061
(2) 長期前受金収益化累計額()	332,686
資本合計	550,970
1 資本金	362,950
2 剰余金	188,020
(1) 資本金剰余金	113,365
(2) 利益剰余金	74,655
負債・資本合計	1,827,498
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	230,720	230,720
資本勘定繰入	45,248	45,248
計	275,968	275,968

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		霧島市			
病院名		医師会医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,612 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	250	83.2	91.6	88.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	56.7	-	-
計	254	82.8	90.1	87.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	16.2	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	123,135	
決算規模(千円)	78,310,983	
標準財政規模(千円)	34,200,306	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	90.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.3
修正医業収益(千円)	5,584,563

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,133,890			
1 経常収益	6,131,974			
(1) 医業収益	5,607,503			
入院収益	4,076,867			
外来収益	1,428,519			
診療収入計	5,505,386			
その他医業収益	102,117			
(うち他会計負担金)	22,940			
(2) 医業外収益	524,471			
(うち国・都道府県補助金)	297,746			
(うち他会計補助・負担金)	143,946			
(うち長期前受金戻入)	22,116			
(うち資本費繰入収益)	51,319			
(3) 特別利益	1,916			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,091,041			
2 経常費用	6,069,117			
(1) 医業費用	5,798,956			
職員給与費	17,473	0.3	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	293,668	5.2	9.5	10.2
経費	5,487,258	97.9	22.7	28.2
(うち委託料)	2,236,279	39.9	12.6	13.6
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	557	-	-	-
(2) 医業外費用	270,161			
(うち支払利息)	17,221	0.3	1.3	1.6
(3) 特別損失	21,924			
損益				
経常損益	62,857			
純損益	42,849			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.0		101.9	99.9
医業収支比率	96.7		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	2.7		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	3.0		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	2.7		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	98.3		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,325,472
1 固定資産	4,172,688
(1) 有形固定資産	4,172,688
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,152,784
(1) 現金及び預金	1,966,965
(2) 未収金及び未収収益	1,186,293
(3) 貸倒引当金()	574
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,085,082
1 固定負債	818,829
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	818,829
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	757,533
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	135,275
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,135
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	615,758
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	508,720
(1) 長期前受金	1,009,764
(2) 長期前受金収益化累計額()	501,044
資本合計	5,240,390
1 資本金	1,783,933
2 剰余金	3,456,457
(1) 資本金剰余金	921,318
(2) 利益剰余金	2,535,139
負債・資本合計	7,325,472
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	166,886	166,886
資本勘定繰入	113,490	81,316
計	280,376	248,202

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	南さつま市				
病院名	市立坊津病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,597 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	26	101.3	72.7	91.8
療養	-	-	70.3	71.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	26	101.3	71.1	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)		21.5	21.5	21.9

設立団体の状況		
人口(人)	32,887	
決算規模(千円)	33,616,475	
標準財政規模(千円)	12,960,407	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	433,459			
1 経常収益	430,259			
(1) 医業収益	283,778			
入院収益	165,271			
外来収益	72,506			
診療収入計	237,777			
その他医業収益	46,001			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	146,481			
(うち国・都道府県補助金)	4,945			
(うち他会計補助・負担金)	117,436			
(うち長期前受金戻入)	11,253			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,200			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	407,660			
2 経常費用	404,460			
(1) 医業費用	400,233			
職員給与費	281,549	99.2	62.1	89.0
材料費	12,311	4.3	25.3	14.0
(うち薬品費)	7,753	2.7	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,558	1.6	11.4	5.4
減価償却費	17,449	6.1	9.5	13.0
経費	88,219	31.1	22.7	47.1
(うち委託料)	34,640	12.2	12.6	22.5
研究研修費	289			
資産減耗費	416			
(2) 医業外費用	4,227			
(うち支払利息)	4,227	1.5	1.3	1.3
(3) 特別損失	3,200			
損益				
経常損益	25,799			
純損益	25,799			
累積欠損金	72,771			
経常収支比率	106.4		101.9	98.5
医業収支比率	70.9		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	35.7		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	54.2		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	35.5		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	68.4		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	674,745
1 固定資産	511,299
(1) 有形固定資産	511,299
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	163,446
(1) 現金及び預金	109,685
(2) 未収金及び未収収益	52,524
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,237
3 繰延資産	-
負債合計	395,516
1 固定負債	192,150
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	190,429
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,721
(7) リース債務	-
2 流動負債	50,928
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,261
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	14,130
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	22,537
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	152,438
(1) 長期前受金	250,536
(2) 長期前受金収益化累計額()	98,098
資本合計	279,229
1 資本金	321,388
2 剰余金	-42,159
(1) 資本金剰余金	3,492
(2) 利益剰余金	-45,651
負債・資本合計	674,745
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.8
修正医業収益(千円)	247,484

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	153,730	153,730
資本勘定繰入	7,758	7,758
計	161,488	161,488

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	肝付町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,371 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	44.2	73.4	85.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	44.2	73.4	85.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	20.6	20.1

設立団体の状況		
人口(人)	14,227	
決算規模(千円)	13,512,487	
標準財政規模(千円)	5,990,122	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	559,304			
1 経常収益	550,065			
(1) 医業収益	290,304			
入院収益	126,317			
外来収益	97,176			
診療収入計	223,493			
その他医業収益	66,811			
(うち他会計負担金)	58,183			
(2) 医業外収益	259,761			
(うち国・都道府県補助金)	9,486			
(うち他会計補助・負担金)	241,656			
(うち長期前受金戻入)	6,765			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,239			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	552,635			
2 経常費用	548,566			
(1) 医業費用	535,467			
職員給与費	304,668	104.9	62.1	89.0
材料費	38,403	13.2	25.3	14.0
(うち薬品費)	23,785	8.2	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,618	5.0	11.4	5.4
減価償却費	23,956	8.3	9.5	13.0
経費	168,199	57.9	22.7	47.1
(うち委託料)	40,444	13.9	12.6	22.5
研究研修費	176			
資産減耗費	65			
(2) 医業外費用	13,099			
(うち支払利息)	446	0.2	1.3	1.3
(3) 特別損失	4,069			
損益				
経常損益	1,499			
純損益	6,669			
累積欠損金	175,893			
経常収支比率	100.3		101.9	98.5
医業収支比率	54.2		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	54.5		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	103.3		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	53.6		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	45.6		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	568,576
1 固定資産	373,512
(1) 有形固定資産	373,462
(2) 無形固定資産	50
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	195,064
(1) 現金及び預金	143,834
(2) 未収金及び未収収益	45,950
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,280
3 繰延資産	-
負債合計	174,594
1 固定負債	51,812
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,812
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	41,674
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,334
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,798
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	11,314
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	81,108
(1) 長期前受金	232,272
(2) 長期前受金収益化累計額()	151,164
資本合計	393,982
1 資本金	569,875
2 剰余金	-175,893
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-175,893
負債・資本合計	568,576
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	43.3
修正医業収益(千円)	232,121

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	162,697	299,839
資本勘定繰入	6,101	6,101
計	168,798	305,940

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		公立種子島病院組合			
病院名		公立種子島病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,126 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救 感 輪		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	60.4	60.3	66.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	4.4	-	-
計	62	58.6	58.4	63.9
平均在院日数(一般病床のみ)		26.2	19.6	21.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.7
修正医業収益(千円)	571,509

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	858,521			
1 経常収益	836,821			
(1) 医業収益	607,803			
入院収益	302,892			
外来収益	245,659			
診療収入計	548,551			
その他医業収益	59,252			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	229,018			
(うち国・都道府県補助金)	10,462			
(うち他会計補助・負担金)	133,088			
(うち長期前受金戻入)	83,608			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	21,700			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	861,213			
2 経常費用	839,513			
(1) 医業費用	786,339			
職員給与費	443,444	73.0	62.1	78.9
材料費	91,158	15.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	40,600	6.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	50,558	8.3	11.4	6.0
減価償却費	85,847	14.1	9.5	11.7
経費	165,305	27.2	22.7	31.2
(うち委託料)	81,757	13.5	12.6	14.3
研究研修費	276			
資産減耗費	309			
(2) 医業外費用	53,174			
(うち支払利息)	27,027	4.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	21,700			
損益				
経常損益	-2,692			
純損益	-2,692			
累積欠損金	663,515			
経常収支比率	99.7		101.9	100.3
医業収支比率	77.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	27.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	19.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	79.5		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,896,576
1 固定資産	1,761,697
(1) 有形固定資産	1,760,485
(2) 無形固定資産	152
(3) 投資その他の資産	1,060
2 流動資産	134,879
(1) 現金及び預金	60,972
(2) 未収金及び未収収益	65,316
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,371
3 繰延資産	-
負債合計	1,878,590
1 固定負債	1,268,728
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,241,658
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	25,542
(7) リース債務	1,528
2 流動負債	154,741
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,330
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	1,824
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	50,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	455,121
(1) 長期前受金	963,953
(2) 長期前受金収益化累計額()	508,832
資本合計	17,986
1 資本金	609,880
2 剰余金	-591,894
(1) 資本金剰余金	5,100
(2) 利益剰余金	-596,994
負債・資本合計	1,896,576
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	160,379	169,382
資本勘定繰入	73,834	114,195
計	234,213	283,577

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	109.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。